令和５年１１月定例教育委員会会議録

　令和５年１１月３日　定例熊谷市教育委員会を大里生涯学習センター研修室に招集する。

○　出席者
　　野原　　晃、松島　佳代子、加藤　道子、大石　聡一
○　出席事務局

教育次長	権田　宣行
参事兼学校教育課長	中谷　樹
教育総務課長	長谷川　和博
社会教育課長	原　光則
教育総務課保健給食担当副参事	新井　知聡
教育総務課副課長	浅見　弘江

１１時２０分　１１月定例教育委員会開会

　教育長が、令和５年１１月定例熊谷市教育委員会の開会を宣言し、本会議の会議録の署名人に加藤委員を指名した。
　事務局から傍聴希望者がいない旨の報告があった。
　１０月定例教育委員会の会議録については、出席委員全員の承認を得た。

日程第１（報告第１１－１号）寄附申出について
　教育総務課長から、熊谷教育推進のためとして、９月１１日から１０月１０日までに、ふるさと納税を計６件、金額にして２７１，０００円を寄附申出いただいたとの報告があった。
　次に、学校教育への活用のためとして、久保島の山口光雄様より、玉井小学校に、１０万円相当の和太鼓の寄附申出いただいたとの報告があった。
　また、母校の部活動等のためとして、江南中学校昭和４２年度卒業生同窓会「みやび会」様より、７６，６３９円を寄附申出いただいたとの報告があった。

日程第１（報告第１１－２号）１１月教育委員会行事予定について
　教育総務課長から、次回１２月定例教育委員会は、１１月２４日に開催するとの説明があった。

日程第２（議案第４３号）「学校給食費の改定について」

教育総務課保健給食担当副参事から、学校給食費を、令和６年４月に以下のとおりに改定すると説明があった。

小学校については、熊谷・江南地区は、現行額４，４００円から６５０円増額し５，０５０円に、大里地区は、現行額４，６００円から７００円増額し５，３００円に、妻沼地区は、現行額４，１５０円から６５０円増額し４，８００円に改定する。

また、中学校については、熊谷・江南地区は、現行額５，３００円から８００円増額し６，１００円に、大里地区は、現行額５，５００円から８００円増額し６，３００円に、妻沼地区は、現行額４，８００円から７５０円増額し５，５５０円に改定する。

現行の学校給食費については、令和５年４月に改定したところだが、４月からごはんなどの主食、牛乳などが約５円ずつ値上がりになり、ほか食材も引き続き値上げされ、栄養価の維持が危うくなることが想定されたため、７月から「子育て世帯学校給食応援事業」として、１食あたり小学校１６円、中学校１９円を公費負担で給食費に上乗せし、給食を実施している。

しかし、今後もガソリン価格の高騰や、異常気象による野菜類の高騰による食材価格の値上がりが続くと見られるため、今年度もＰＴＡ代表や校長会代表、学識経験者等からなる熊谷市学校給食費等検討委員会を組織し、適正な給食費の金額について協議していただいた。

委員会では、熊谷市学校給食費等検討委員会結果報告書にある資料を基に改定額を検討した。検討資料について、１つ目は、栄養士に理想的な食材で理想的な献立を５日分作成してもらい、それらにかかる食材費用について、昨年と今年の価格で比較したところ、約２２パーセント金額が上昇していた。２つ目は、熊谷学校給食センターでの食材購入価格を昨年と今年で比較したところ、約１４パーセント金額が上がっていた。３つ目は、埼玉県の食料品の消費者物価指数の変化を確認したところ、昨年と今年で約８パーセント金額が上がっていた。

これらの数字を参考に協議したところ、１２パーセントから１８パーセントの値上げで意見が分かれ、最終的に１５パーセントの値上げで意見がまとまったが、今年度に続き２年連続の値上げ改定となることから、保護者の経済的負担軽減のため、値上げ相当分の公費負担を求めることで、検討委員会の意見がまとまったとの報告があり、この報告を参考に、今回の価格改定案を決定した。

大幅な値上げとなり、改定後の金額は県内市の中では、最上位またはその近くとはなるが、他市においても値上げを検討していることから、いずれはランクが下がってくると思われる。保護者の経済的負担は増えるが、給食は、生きた教材であることから、理想的な給食を子供たちに提供できるように御協力いただけるよう、理解を求めていくと同時に、給食費の補助について検討をするとの説明があった。

（議案は、原案どおり可決）

（その他）後援等承認決定した事業一覧について

　教育総務課長から、９月１６日から１０月１５日までに後援等承認決定した事業が１１件あったとの報告があった。

　ほかに報告はなく、教育長の宣言により、令和５年１１月定例熊谷市教育委員会を閉会した。

（１１時５２分　閉会）

署名　　　　　教育長　　　野原　晃

　　　　　　　委　員　　　加藤　道子